



苦小牧初のがん看護専門看護師

INTERVIEW 今月の「ひと」

王子総合病院
がん看護専門看護師
きむら さちえ
木村 幸恵さん (60)



患者との調整役を担う

王子総合病院(若草町)の看護師木村さんは、昨年12月に苦小牧初の「がん看護専門看護師」の資格を取得。日本看護協会が認めた、卓越した実践能力を備えたスペシャリストに与えられる資格です。60歳を超えた今は、本格的に専門看護師として従事する毎日です。患者のつらい思いや治療の不安などを聴き、緩和チームや医師との調整役などを担っています。



スタッフと打ち合わせをする木村さん

40歳を過ぎて看護師に

当初幼稚園教諭だった木村さんは、育児をしながら看護の勉強をして、40歳を過ぎて看護師になりました。

10年ほど現在の病院の消化器内科病棟に勤務して、がんで苦しむ患者と接しました。その頃「緩和ケア認定看護師」資格を取得。終末期医療の先駆者の医師による「人間は最後の瞬間まで人として成長できる」という言葉に強く感銘を受けます。がん専門看護師として、患者と対峙したいと学びを模索します。

4年後、仕事をしながら北海道医療大学(札幌市)の大学院生とし

て学び、実習は長期休暇を充てるなど努力を重ねます。コロナ禍で実習が困難になりながらも、4年で修士課程を修了しました。

これからも真摯に寄り添って

10月から念願だった「がん看護サポート外来」がスタートしました。「がんと共に生きている方の力に少しでもなれたら」と、新たな思いが募ります。資格取得は「職場や家族の支えがあったから」と周りへの感謝も話します。これからも「真摯に患者さんに寄り添うことを大事にしていきたい」と、木村さんは意欲を語っていました。

とまこまい 検定



Q ○に当てはまる言葉は?

A パリ2024オリンピックの活躍で、
郷土貢献者特別表彰を受けた○○○さん

応募方法 11月30日(土)までに答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報とまこまいへのご意見・感想を記載し、はがき(消印有効)または左記二次元コードで

宛先 ▶ 〒053-8722 旭町4-5-6 秘書広報課 広報担当
応募は1人各月1回まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

前月号の答えは ▶ 有書

抽選で5人に
熟成干し芋
黄金紅はるか
プレゼント!



応募はこちら

